

第2学年 英語科学習指導案

- 1 題材 PROGRAM 3 What Can We Do for Others?
- 2 指導計画 (全7時間)
- 3 本時の目標 助動詞 **must** と **have to** の否定形の違いを理解し、それを活用して表現することができる。
- 4 人権教育の内容 個を生かす集団の育成 3-(2)-イ
- 5 準備物 ワークシート、カード
- 6 指導過程

学習活動	授業形態	○ 支援 ・ ◆ 評価
1. ウォーミングアップ	ペア グループ	○ 英語を聞いたり話したりすることに慣れさせるために、ペアで会話を行わせる。 ○ カードを用いて、前時までに学んだ助動詞を確認させる。
2. 本時の学習課題を把握する。		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 助動詞 must と have to の否定形の違いを理解しよう。 </div>
① 絵と会話から、どのような内容なのか考える。	グループ	○ わかりやすい内容のものを提示して、どのような使われ方をしているのか考え、違いを理解させる。 ◆ 自分たちの言葉で違いを説明できているか。
② 口頭練習をする。	個人	○ テンポよく何度も練習させることで、慣れさせる。
③ ワークシートを使って確認する。	グループ	○ ワークシートに書かせることで理解を深め、定着させる。
3. ペアで助動詞を用いた会話を作成する。	グループ (ペア)	○ 習得した表現を使って、自然な会話になるように声かけをする。 ○ 豊かな表現力を身につけることに興味を持たせる。 ◆ 適切な英文で書けているか。 ○ 積極的に自分たちの考えを伝えさせる。
4. ワークシートによる演習を行う。	個人	○ ワークシートを用いて、内容理解や表現に慣れさせることにより、応用力を身につけさせる。 ◆ must と have to の否定形の違いが理解できているか。